

2026 年 1 月 26 日

東急不動産株式会社

“人とのつながり”で渋谷の価値を育む街のインフラをめざす

## コミュニティアプリ「SHIBUYA MABLs」が 10 万ダウンロードを突破

～リアル拠点を 3 月にオープン予定、デジタルとリアルの両面でコミュニケーションを推進～

東急不動産株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：星野 浩明、以下「当社」）は、広域渋谷圏※で展開する、“人とのつながり”によって渋谷の価値を育むコミュニティアプリ「SHIBUYA MABLs（渋谷マブルス）」がダウンロード数 10 万を突破したことをお知らせします。

渋谷・桜丘エリアにおいてリアル拠点を 2026 年 3 月に開設します。アプリを起点としたプロジェクト名を「MABLs」とし、延べ 6,000 人が参加したリアルな交流の場をさらに広げていくほか、渋谷と地方都市の自治体と連携し、渋谷でのコミュニティ形成のノウハウを展開し二拠点生活の推進による地域活性化に向けた取り組みも進めてまいります。

また、「SHIBUYA MABLs」ユーザー約 1,000 名に“つながり”に対する意識についてアンケートを実施しました。利用者の約半数が「気軽に交流できる仲間」に出会えたと回答しており、ユーザー間でご近所付き合いのような日常的なつながりが生まれていることが分かる結果となりました。



### ■ アプリダウンロード数が 10 万を突破

「SHIBUYA MABLs」は、広域渋谷圏※において“人與人”“人と街”のつながりを通じて、渋谷の価値を育むことを目的としたアプリで、2024 年 8 月のローンチ以降、1 月にダウンロード数 10 万を突破しました。

最大の特徴は「チェックイン」機能を起点に体験が広がる点で、渋谷エリアにチェックインするとポイントが貯まります。ポイントは渋谷エリアの飲食店や体験施設等で利用できます。また、チェックインを通じて「いま渋谷にいる人」同士でコミュニケーションがとりやすく、興味関心を起点とした交流のきっかけを創出し、仕事や趣味に関する情報交換にも活用できます。ユーザーを対象とした幅広いイベントを通じて実際に会えるなど、デジタルとリアルの両面からつながりとおトクを提供します。“コミュニティインフラ”として、街を支える存在をめざしています。

渋谷で働く方、暮らす方、訪れる方など、地域に関わる幅広い方々に利用いただき、提携店舗数は150店舗、オフラインイベントの参加人数は延べ6,000人を超えました。

さらに、全国各地の地域活性化を目的として、渋谷を起点とした二拠点生活の推進にも取り組んでいます。二拠点生活を支援することで、地方都市の活性化や関係人口の創出をめざしています。静岡県・東海旅客鉄道株式会社と連携を進め、静岡での二拠点生活を体験するツアーを実施しました。今後さらに各自治体との取り組みを広げてまいります。

※ 広域渋谷圏：東急グループが渋谷まちづくり戦略において定める、渋谷駅から半径約2.5kmのエリア。「SHIBUYA MABLs」内サービスの一部は、広域渋谷圏内の一部エリアで実施。

MABLsHP：<https://mabls.jp/>



## ■ 渋谷・桜丘エリアに初のリアル拠点をオープン

2026年3月に渋谷・桜丘エリアにて「MABLs」のリアル拠点がオープンします。「SHIBUYA MABLs」ユーザーがいつでも立ち寄れる常設拠点で、運営チームが常駐します。自然と集える場を設け、偶発的な出会いや対話からの新たなコラボレーションやイベントの企画といったアイデア創出をめざします。

### 【施設概要】

施設名：MABLs BASE(仮)

住所：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町16-2 サクラブルーム1階

アクセス：JR 渋谷駅 新南改札より徒歩3分

面積：約46㎡

※再開発の検討が進む「ネクスト渋谷桜丘地区」の再開発事業着工までの期間において、暫定施設として本施設を活用します。なお、再開発事業着工後の本施設については今後検討してまいります。

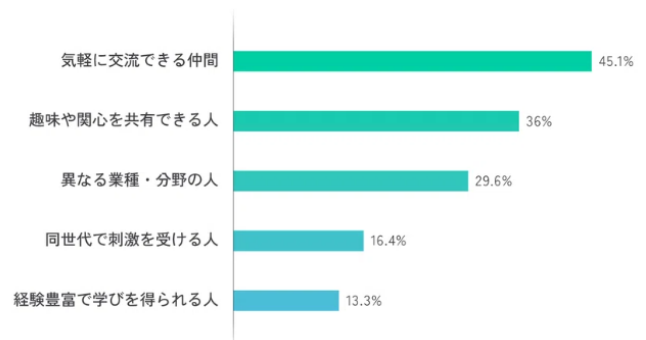


## ■ アンケート調査「MABLs 白書」

この度、現在の「人とのつながり」に対する意識と、「SHIBUYA MABLs」の役割を探るため、20代～50代の男女1,000名を対象にしたアンケートと、SHIBUYA MABLs アプリ利用者1,019名を対象にしたアンケートそれぞれの結果を「MABLs 白書」にまとめました。一般調査では、約6割が「人とのつながりの薄さ」に対して不安や寂しさを感じている中、SHIBUYA MABLs の利用者調査では、約半数が「気軽に交流できる仲間」(45.1%)を、次いで「趣味・関心を共有できる人」(36%)、「異なる業界・分野の人」(29.6%)と出会うことができたと回答しました。

この結果から、「SHIBUYA MABLs」はいわゆる「ご近所付き合い」のような日常的な“ゆるいつながり”を生み出す役割を担い始めていることがうかがえます。

### SHIBUYA MABLsを通じてどんな人と出会いましたか？



詳細は MABLsHP よりご覧ください。

[https://note.com/tokyu\\_mabls109/n/n01a53270306a](https://note.com/tokyu_mabls109/n/n01a53270306a)

## ■ これまでの「MABLs」のイベント内容

「MABLs」は、アプリ内のコミュニケーションにとどまらず、リアルな場での出会いや関係構築も重視し、渋谷で過ごす方・働く方がつながる機会を創出してきました。毎月開催の交流イベント「MABLs NIGHT」をはじめ、業界や立場を越えた交流を促進する「MABLs MIX」、読書・ランニングといった共通の関心軸でつながる「MABLs クラブ」など、多様な取り組みを通じて、渋谷における新たなつながりや文化の醸成を進めています。

また、渋谷に拠点を置く企業の新卒社員が、会社の枠を超えて「街」を共通項に出会い、“ご近所同期”としてのつながりを育むことを目的に「渋谷合同入社式 2025」を開催し、約 25 社・約 110 名の新卒社員が参加しました。さらに、大人としての新たなスタート地点として節目を再定義し、渋谷にゆかりのある 30 歳同士が交流するイベント「30 歳式」も開催するなど、世代やライフステージに応じたコミュニティ形成を推進しています。



## ■ 広域渋谷圏における東急不動産の取り組み「LIFE LAND SHIBUYA」

東急グループでは、渋谷駅を中心とした半径約 2.5km のエリアを広域渋谷圏とし注力しています。「LIFE LAND SHIBUYA」は、東急不動産ホールディングスグループによる広域渋谷圏のまちづくりコンセプトです。渋谷、原宿、表参道、代々木、代官山、恵比寿など、個性豊かな街々が隣り合うエリアで「人」起点のまちづくりを進め、「新しい」が生まれ続けるワクワクを届けます。

「MABLs」は、年代や職種・趣味などを越えて、多様なバックグラウンドを持つ人が、アプリ・リアルの両面でつながる場を設けることで、様々な人々の交流を生み、新たな産業やにぎわい創出、広域渋谷圏の価値向上につながります。



LIFE LAND SHIBUYA HP :

<https://life-land-shibuya.com>

広域渋谷圏のまちづくり HP :

<https://www.tokyuland.co.jp/urban/area/shibuya.html>